

福島県エコ・リサイクル製品

ネオナイトの除染剤認定

汚水処理などを手掛けるネオナイト(松江市富士見町、寺山文久社長)の開発した放射

性物質の除染剤「ネオナイトCS」が、福島県のエコ・リサイクル製品に認定された。除

染剤は初めて。島根県産のゼオライトに加え、原材料に福島県内の火力発電所から出る石炭灰を利用した。認定を普及に生かし、福島第1原発事故の影響に苦しむ被災地の除染作業に役立ててもら

う。一方、ネオナイトCSは、放射性セシウムの吸着性に優れたゼオライトにカルシウムなどを交ぜた粉末状の除染剤。建物、道路、土壌、木材などを洗浄した後の汚染水に入れると、放射性物質を吸着

し、生産量を5倍に引き上げるとい

う。寺山社長は「福島県認定のエコ商品として、被災地の復興に役立ちたい」と話している。



福島県のエコ・リサイクル製品に認定されたネオナイトCSと、認定証を手にする寺山文久社長(松江市富士見町、ネオナイト)

に2004年度にスタートした。福島県内で排出される廃棄物を再利用し、一定量使う

と、放射線物質を吸着

認定期間は3年間で、現在は福島県いわき市の建設会社に委託し、日量1トを生産。来年6月までに同県広野町に新工場を整備し、生産量を5倍に引き上げるとい

う。寺山社長は「福島県認定のエコ商品として、被災地の復興に役立ちたい」と話している。

。沈殿処理できる。認定を受けるにあたり、処理後の水を中性に保つために使う石炭灰の調達先を、島根県内から福島県内に切り替えた上で、製造も現地でを行うことにした。

認定期間は3年間で、現在は福島県いわき市の建設会社に委託し、日量1トを生産。来年6月までに同県広野町に新工場を整備し、生産量を5倍に引き上げるとい

う。寺山社長は「福島県認定のエコ商品として、被災地の復興に役立ちたい」と話している。